

聖地に受け継がれる、  
荘厳な美の世界。

# 高野山 祈りの美

◀開創二二〇〇年記念▶



中島千波「桜の間隙壁画」(部分)

2015.2.18(水) - 3.2(月)

ご入場時間＝午前10時～午後7時30分  
(8時閉場)。※最終日3月2日(月)は  
午後4時30分まで(5時閉場)。

大阪高島屋7階グランドホール

主催＝高野山真言宗総本山金剛峯寺、  
朝日新聞社

入場料(税込)＝一般800円(600円)、大学・高校生600円(400円)、  
中学生以下無料

※( )内は前売り及び10名様以上の団体割引料金。※価格は消費税を含む総額にて表示しております。  
※「障害者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。

 **Takashimaya** OSAKA  
www.takashimaya.co.jp  
TEL(06)6631-1101

聖地に受け継がれる、荘厳な美の世界。

開創一二〇〇年記念

# 高野山 祈りの美

2015年は、弘法大師空海が高野山に密教の道場を開いてから1200年目にあたり、高野山では春に執り行われる大法会を中心として、さまざまな行事が予定されています。

記念催事のひとつとして開催される本展覧会では、明治時代以降、歴史の節目を迎えるたびに高野山に奉納されてきた美術品の数々を一堂に集めてご覧いただけます。なかでも現代日本画を代表する作家の中島千波氏が、今回の開創1200年にあわせて制作した金剛峯寺奥殿の襖絵12面は、本展で初めて公開されます。

このほか、高山辰雄、守屋多々志、木村武山、富岡鉄斎による屏風や襖絵、掛軸、高松宮御下賜の美術品などを展示し、一千年の時を超えて受け継がれる信仰のありようをご紹介します。

## 第1章 弘法大師空海の旅

第1章

難波津(大阪)から出港し、唐の長安を経て高野山を開く弘法大師空海の求法の旅を、守屋多々志氏が奉納した襖絵などの作品を通じてたどります。守屋氏の襖絵は、1984年の弘法大師御入定1150年御遠忌にあわせて3年をかけて完成させ、金剛峯寺別殿に奉納した計82面におよぶ大作。今回はそのうち数場面を出展いたします。



守屋多々志「高野草創」



中島千波「桜の間障壁画」

## 第2章 中島千波の桜の間

第2章

中島千波氏が開創1200年を記念して制作した新作をご披露します。正面と左右の計12面に満開の桜が広がります。高島屋会場での公開のち、襖絵は金剛峯寺奥殿(通常非公開)に納められます。

## 第3章 皇室ゆかりの美術品

第3章

高松宮家から高野山に下賜された御物や御遺品など、皇室ゆかりの品々をご覧ください。



「梨子地金銀唐草御紋散御広蓋」

徳川慶喜「松無古今色」

## 第4章 美術家たちの奉納品

第4章

富岡鉄斎や木村武山といった当代の芸術家がこれまでに奉納した数々の作品の中から選りすぐりの名品を展示します。木村武山の「小説弘法大師挿絵」は、1934年(昭和9年)の弘法大師千百年御遠忌の際に朝日新聞に掲載された直木三十五の小説の挿絵です。



高屋肖哲「弘法大師像」

ギャラリートーク 2月18日(水) 午前11時 / 添田隆昭氏(高野山真言宗宗務総長)

 **Takashimaya** OSAKA  
www.takashimaya.co.jp  
TEL(06)6631-1101